

## 2014年度「会計情報論b」(石川)の論点整理のために

毎回の講義での重要な点などを、設問のかたちで示しておきます。講義の論点整理および(小テスト)・本テスト対策に役立ててください。答えはすべてテキストのなかにあります。

※講義の理解のために3つの役立ち→①テキストの復習、②講義のカラーズライド、③放送大学「社会のなかの会計」(TV地上デジタル12ch放送)の第1回～第5回。

※テキスト：石川『複式簿記のサイエンス』(税務経理協会、2011年)

※難易度：A＝上級、B＝中級、C＝初級

### テキストI 単式・複式・3式簿記

#### 第1章 単式簿記と複式簿記―簿記の内と外―

講義10/2(木)～

Q1 (単式簿記の取引仕訳) 設例1と図表1. 1の記帳から、

- 1) 8つの取引仕訳を示しなさい。そのさい複式記入にならない取引番号を示しなさい。
- 2) また、なぜ複式仕訳にならないかの理由を述べなさい。(以上、B)

Q2※ (純財産の増加額としての利益計算)

図表1. 4の貸借差額20が、純財産の増加額になっていることを数式でもって示しなさい。(B+)

Q3 (簿記の外) 結果計算と原因計算を

- 1) 野球の1点差勝利の例で説明しなさい。(C)
- 2) 拾い上げ計算が簿記の外であることを説明しなさい。(B)

Q4 (複式簿記とは) F(フロー)の勘定の導入によって、

- 1) Q1での8つの取引仕訳をあらためて示しなさい。(C)
- 2) その結果、8つの仕訳がどうなるか述べなさい。(B)

Q5※ (複式簿記とは：その1)

Q3の原因分析の「拾い上げ計算」は、F(フロー)の勘定の導入でどのようになりませんか。(B)

- Q6 (複式簿記とは: その2) 図表1. 8から複式簿記と何かについて、  
1) その本質的な特徴を説明しなさい。(B)  
2) さらに、それをあとのハイエクの引用(55頁)から説明しなさい。(A)

### 第2章 複式簿記の内容と形式

- Q7 (形式を変える: その1)  
形式を変えることの意義は何ですか、説明しなさい。(B)

- Q8 (形式を変える: その2)  
①図表2. 5の $x = y$ と $X = Y$ の2つの等式関係の相違を説明しなさい。(B)  
②図表2. 1(22頁)で $X$ と $Y$ を説明しなさい。(B)

- Q9※(試算表の直接型と環節型: 第2章付論1)  
①なぜ直接型を見せるのですか。(B+)  
②2つの型がでてくる原因について述べなさい。(A) ヒント: 減算方式の違い

### 第3章 3式簿記への招待

- Q10(三式簿記について: その1) 図表3. 5の網掛けは  
1) 何を説明していますか。(C)  
2) それはどのような記帳から出てきますか。

- Q11(三式簿記について: その2)  
単式→複式への展開と、複式→三式への展開表との異同を説明しなさい。そのさい、簿記の内と外という点にも言及しなさい。(A)

- Q12(複式簿記の無言の力) 無言の力とは  
1) それはどういうことですか。  
2) 複式簿記の「無言の力」とは、ハイエクの言葉ではどう表現されていますか。  
3) 複式簿記に関して「為すべきことを誰かが告げる必要なしに、望ましいことをさせる」とはどういうことか、具体的に説明しなさい(テキスト56ページ)。(B+)

### II キャッシュフロー計算の複式簿記(第4, 5章)

11/6(木) ~ 11/13(木)

- Q13(利益とキャッシュ: その1)  
「利益は意見」とはどういうことですか、具体例(会計方法)をあげて説明しなさい。それに対し、「キャッシュは現実」とはどういうことですか。(C)

Q14 (利益とキャッシュ: その2)

「勘定合って」とはどのようなことですか。それに対し、「銭足らず」とはどのようなことですか。(C)「勘定合って、銭足らず」が進めば企業はどうなりますか。(C)

Q15※ (C/FとP/L: その1)

テキスト97頁の図表5.4(スライド18)を72頁の数値例のB/S(スライド6)で説明しなさい。(A)

Q16※ (C/FとP/L: その2)

73頁図表4.3のC/Fの直接法(収入-支出)とP/Lの損益法(収益-費用)を説明しなさい。そのさい、97頁の図表5.4(スライド18)を用いて、それぞれが何を説明する(account for)計算書か述べなさい。(A)

Q17 (直接法と原因別説明勘定)

C/Fの直接法は、取引から直接に、「収入-支出」を説明するものですが、スライド5の取引仕訳(テキスト71ページ)には収入と支出を説明する勘定(キャッシュ・フロー増減の原因説明)はありますか。(B+)

これに対し、P/Lの損益法(「収益-費用」)ではどうですか(損益の原因を説明する勘定)。(B)

Q18 (間接法: その1)

スライド9(テキスト75ページ)の3つの等式のうち(2)式を数値例(スライド6)で確認しなさい。(B)

Q19 (間接法: その2)

スライド9(テキスト75ページ)の3つの等式のうち(3)式を数値例(スライド11)で確認しなさい。(B)

Q20 (直接法と間接法)

2つの方法は、いずれもキャッシュフロー=-10と計算されます。その計算過程はどうですか。数値例でもって確認しなさい。(B)

Q21 (間接法の利点と欠点)

間接法の利点はなんですか。欠点はなんですか。(B)

Q22 (キャッシュフローの展開表: その1)

表のヨコ破線での上下の区別を説明しなさい。P/Lでの展開表ではどうでしたか、説明しなさい。(B)

Q23 (キャッシュフローの展開表: その2)

展開表で直接法と間接法を説明しなさい。(B+)

Q24 (資本と利益とキャッシュ: その1)

極端なB/Sとは、何が極端ですか。(B)

その極端なB/Sでもって、3つの関係を説明しなさい。(B+)

Q25 (資本と利益とキャッシュ: その2)

通常のB/Sとは、なんですか。(C)

そこでは3つの関係がみえてこないのはなぜですか。(B+)

Q26 ( $\Delta B/S$ の系とは)

P/Lの「財産法」の計算とC/Fの「間接法」とが $\Delta B/S$ の系といえるのはなぜですか。(B)

Q27 (取引ベースの系とは)

取引ベースの系として説明できるのは、P/Lの( )法とC/Fの( )法である。かっこに適切な用語を入れなさい。(C+)

Q28 (P/Lの展開表とC/Fの展開表: その1)

P/Lの展開表(スライド9)とC/Fの展開表(スライド10)の各取引の数字がすべて同じになっているのを確認しなさい。

その理由を述べなさい。(B+)

Q29 (P/Lの展開表とC/Fの展開表: その2)

丸付きの構造符号とは、どういう符号ですか。言い換えれば、それはどこから出てくる符号ですか。(B)

Q30※ (同型性の理解に関して: その1)

スライド11をP/Lの展開表(スライド9)とC/Fの展開表(スライド10)で確認せよ。

Q31※(直接法とC/Fの取引仕訳)

直接法の本来のあり方は、C/Fの取引仕訳から記録計算される。なぜですか。  
P/Lの損益勘定との関係をふまえて述べなさい。(A)

Q32(C/Fの取引仕訳:その1)

スライド15の①への変換を「本体と影」で説明しなさい。(B+)  
同じく、②の変換を「本体と影」で説明しなさい。(A)

Q33(C/Fの取引仕訳:その2)

スライド16の①と②は、先のスライド15のどこを説明していますか。(B)  
同じく、③と④は先のスライド15のどこを説明していますか。(B+)

Q34(C/Fの取引仕訳:その3)

スライド16の①と②すなわち「本体は隠れ、その影が出る」と、③と④すなわち  
「影が消えて、その本体があらわれる」とは、どういう関係にありますか。(A)

Q35(C/Fの取引仕訳:その4)

以上の点が理解できたひとは、スライド12でのP/Lの仕訳とC/Fの仕訳の対  
応関係を確認しなさい。

Q36(「振替」と複式簿記:その1)スライド18、19

損益勘定から残高勘定の資本への「振替」は、なぜ必要ですか。「本体と影」のた  
とえで答えなさい。(B)

損益勘定が導入されていない単式簿記ではどうなりますか。答えなさい。(B+)

Q37(「振替」と複式簿記:その2)スライド20

C/Fでの「振替」は( )勘定から( )勘定への振替で、それが必  
要な理由を同じくP/Lでの「本体と影」のたとえで答えなさい。(B+)

Q38(「振替」と複式簿記:その3)スライド21

Q31(P/L)と32(C/F)から、「振替」原理の「同型性」を説明しな  
さい。(B)

Q39(2つの相対軸)スライド23

ヨコとタテの矢印の相対化について、それぞれ述べなさい。(B+)

